

# 教育學術新聞

教育学術新聞  
東京都千代田区九段北  
4-2-25 私学会館内  
編集兼発行人 小出秀文  
TEL 03(3261)7048  
FAX 03(3261)0769  
毎週水曜発行(第5水曜休刊)  
購読料 年4800円(税込)  
©教育学術新聞 2022  
www.shidaikyo.or.jp

## 大学の「ヒーロー」誕生

### 美作大学 地域貢献等を象徴

岡山県の美作大学(鶴崎実学長)では、大学の地域貢献等を象徴するキャラクターとして「ミマダイーン」が活躍している。

ミマダイーンは一見、昭和風のヒーロー(写真)



世界を救うのは、地域のヒーローだ。

真)。誕生の背景は次のようなものだ。

同大学の学生が2019年、「JAつやま(現JA晴れの国岡山)」のマスケットキャラクター「JA戦士シャイン」のヒーロースーツを借り受

け、複数の幼稚園で食育ヒーローショーを行った。これは非常に好評だった。また、キャラクターの性質上、ヒーローショーで展開できる内容が食関連に限定

されることから、大学オリジナルのヒーロースーツを製作して、更に自由度の高いヒーロースーツを用いた教育活動を行う企画が生まれた。

この話を同大学のCMを20年来担当している広告代理店に持ちかけ、2021年度のCMを「美作大学は地域に貢献するヒーローを養成する大学である」をコンセプトに製作するプロジェクトが始まった。デザインは、2020年10月に開催した大学祭において、同代理店が提案した3種から学生の人気投票で選ばれたものが元になった。名前の「ミマダイーン」は、同大学の愛称が「ミマダイ」であることから、プロジェクトが開始してから企画担当者が仮称として使用していた名称がそのまま採用された。な

お、「ダイーン」のアルファベット表記はローマ字表記の「DAIN」ではなく、ギリシャ語で「力」を現す「DYNEN」である。更に、同大学はこれまで地域に貢献できる人材育成を達成目的としてきたこともあり、ヒーローの苗字とも言うべき冒頭の4文字は「地域貢献」とした。

CM製作後は当初の予定通り、子どもを対象として、学生による「SDGs教育ヒーローショー」を展開しており、イオンモール津山での活動を皮切りに岡山県北地域の幼稚園、保育園で公演している。また、11月21日には千葉県の蘇我で開催された日本ローカルヒーロー祭にも参加し、大学の活動をPRしたという。さらに、ヒーローショーに参加したいという学生有志も増え、「TEAM MIMADAYEN」と称したサークル団体も立ち上げられた。

今後も引き続き、津山市内を中心とした幼稚園、保育園でヒーローショーを展開する一方で、県内のSDGsを推進す

る団体と連携し、SDGsの理解を深める活動も並行して行っていく。